

## 市指定文化財<無形民俗>

いわしたかぐら  
岩下神楽

指定日 昭和49年6月28日

所在地 菊池市四町分(岩平)



四町分菅原神社は塚原と長六の境にあり、元文3年(1738)創建といわれる。この頃イナゴの大発生により大凶作となり、それを祈願して太宰府天満宮より勧請かんじょうしたものらしい。

この岩下神楽は肥後神楽の流れをくむとされるが、その起源は定かではない。鬼人の面に「寛保3年(1743)7月吉日 熊本の藤吉作」と銘があるところから、この頃からであろう。演舞は8座で榊舞、持幣舞、参舞、弓の舞、剣の舞、唄舞、問の舞、弓剣の舞がある。

古老の話によると西南の役の翌年、何か芸能を習おうと話がまとまり、近隣の神官に特訓を受けたそうである。戦後一時途切れたが、昭和46年保存会を設立し、今日に継承されている。

神楽が奉納される日は、もと年間3回であったが、現在は10月14日一四町分座祭日、11月15日一岩下座祭日の2日である。